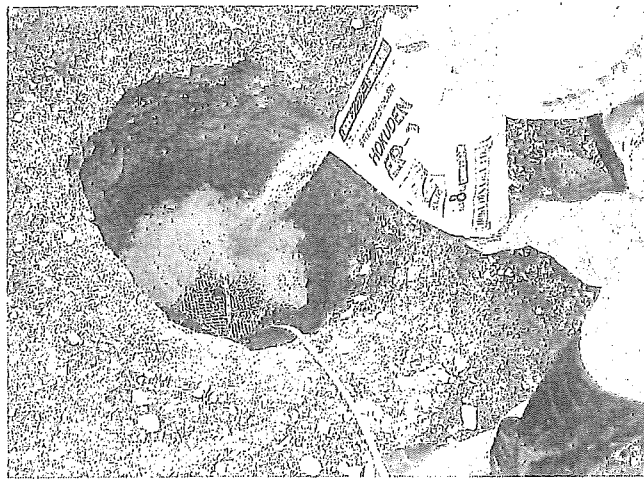


ホクデン

工費抑え 接地抵抗減

コンクリ電極 簡易セットを発売



「ホクデンEP-1」の簡易接地セットの施工例

アース関連メーカーのホクデン(富山県立山町、戸栗和広社長)は、電気設備の接地工事で高い接地抵抗低減効果が得られる導電性コンクリート接地電極「ホクデンEP-1」の簡易接地セットを、きょう5日から販売する。アース棒を使用する一般的な接地工事で、「低コストで追加的に抵抗値を低減させたい」という顧客ニーズに応えた。販売価格も抑えたという。同社は簡易接地セットを「お試し版」(戸栗社長)と位置付け、EP-1の拡販につなげる考え。

発電所、変電所、送備で接地工事が必要に電・配電をはじめ、ビルなる。その際、法令やル、工場、鉄道、空港規格・基準などによりなど、あらゆる電気設備接地抵抗値が定められ

ているが、抵抗値は低いほど良いとされる。EP-1は、接地工事の際に抵抗値が規定値を超えた場合、抵抗値を低減させるための製品。北陸電力との共同開発により1995年に商品化した。炭素などを配合した導電性コンクリートの低減剤と銅線を網状に織り込んだ電極「パワーメッシュ」を組み合わせた接地抵抗低減剤として、同社が製造・販売を手掛ける主力商品だ。

接地抵抗の低減効果に優れるほか、コンクリート接地電極としたことで、強度や耐久性が高まり長期間にわたる性能を持続する。北陸電力と定期的に実施している性能・品質評価では「15年経過してもほぼ低減効果は変わらない」という。さらに導電性コンクリートは、土中の水分のみで硬化するため施工性に優れる。また雷対策としての有効性も確認しているという。

同社は製品の高い機能性をもとに、北陸電力をはじめ電力各社、官公庁、鉄道会社、空港会社などで採用実績を積み上げてきた。最近では「太陽光発電所などでの採用も伸びている」という。

簡易接地セットは、電気工事会社がアース棒を打設する一般的な接地工事において、労力をかけず低コストで抵抗値を低減させる製品。顧客ニーズに応え、ラインアップに加え、セットは導電性コンクリート8センチと30センチのパワーメッシュ

2枚が入る。1枚は検査のための接地抵抗測定で活用することができる。

施工はアース棒打設のため掘削した穴の底部に、EP-1を敷設して埋め戻すだけでよく、追加工事は不要。アース棒を複数本打設することが困難な狭い施工場所でも、EP-1を加えることで低減効果が得られるという。

簡易接地セットは、電気工事会社がアース棒を打設する一般的な接地工事において、労力をかけず低コストで抵抗値を低減させる製品。顧客ニーズに応え、ラインアップに加え、セットは導電性コンクリート8センチと30センチのパワーメッシュ

2枚が入る。1枚は検査のための接地抵抗測定で活用することができる。